

20周年に寄せて（メンバーからのひとこと）

いつまでも住み慣れた茅ヶ崎で、お互い様の気持ちから始まった一心が、幾度となく話し合いを重ね、介護保険の導入を決めた頃一心に入会しました。介護保険に伴う事務作業に関わり、ケアに何う事はほとんどありません。それでも、毎月お名前や訪問予定などをパソコンに打ち込んでいると、今月もお変わりなく過ごされているんだと、一瞬ですがその様な事を思いながら作業をしています。お目にかかれなくても事務作業の中で皆様と繋がっていると思いつつ、そしてメンバーが安心して気持ちよく皆様と関われる様、しっかりやって行きたいと思つています。

<若月洋子>

私が嬉しかった事は、ケアでお掃除をした後に利用者さんから言われた一言です。

「亡くなった妻が掃除した時と同じようになったよ。」掃除のやり方は、人それぞれ、ご家庭によって異なります。私たちは利用者の方毎に、ご希望をお聞きし、そのご希望に添えるような形で、日々頑張っています。利用者の皆様に喜んで頂き、このようなお言葉をかけて頂いたときは、ヘルパー冥利につきます。これからも、お一人お一人に合った援助が出来るように、日々精進していきたく思っています。

<長田智子>

2級ヘルパー資格取得後、登録ヘルパーとして、時々仕事をふられたら入ろうと、軽い気持ちで一心に入会して早10年。こんなに長くお世話になるとは夢にも思いませんでした。多くのメンバーに支えられ、また良い刺激を受けながら、かけがえない年月を過ごすことができ感謝しています。利用者の方から「いつもありがとう。人のお世話をすることができて素晴らしいことね。」とヘルパー冥利に尽きる言葉をかけていただくとパワーの源となると同時に、初心に戻る思いがします。これからも一歩ずつ、前へ、前へ。

<藤本寿子>

<賛助会員募集>

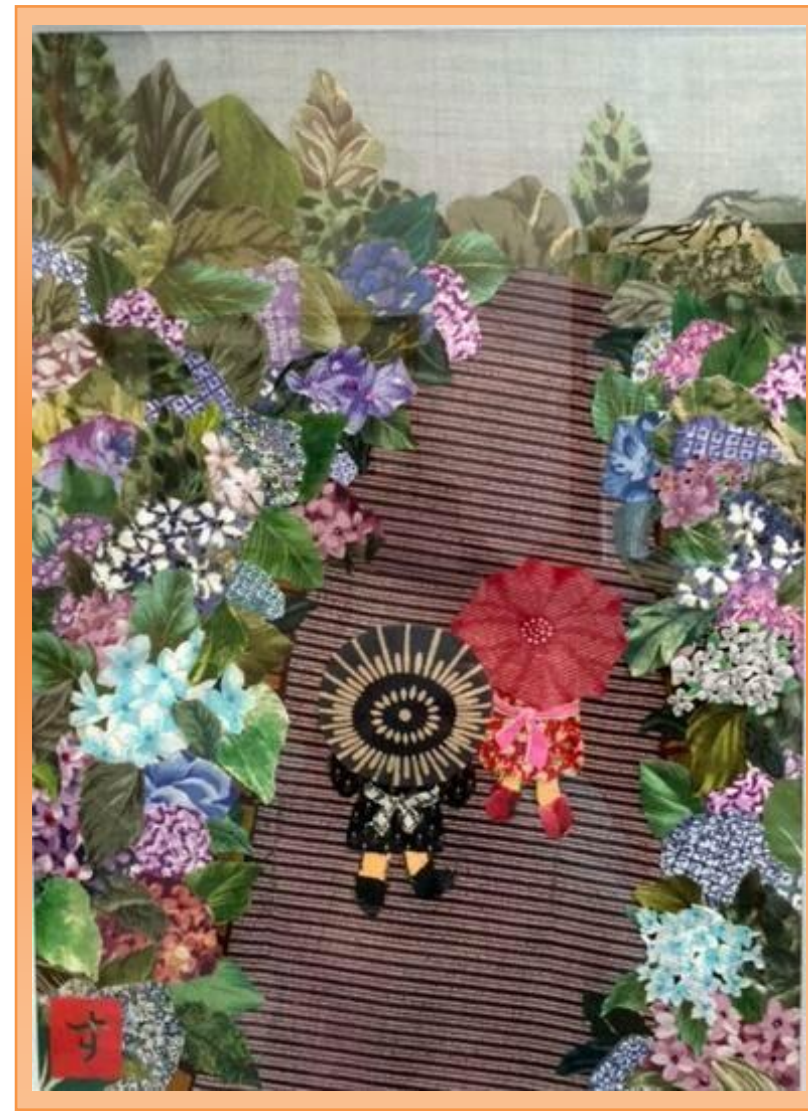
一心の活動に賛同し、資金面で援助していただける賛助会員の方を募集しています。『ねこの手』を発行した時には送付致します。

会費：一口1,000円（毎年度）

《連絡先：58-7086》

ねこの手

～56号～



裂画
（小野寿美子様作品）



～メンバー募集～

一緒に働いて下さる方を募集しています。資格がある方もない方も、興味がある方はどうぞ事務所までご連絡をお待ちしています。!(^^)!

TEL 0467-58-7086

<編集後記>

梅雨真っ盛り、紫陽花が映える季節、表紙の裂画は何枚もの布をご本人の感性で切り取り、丹精込めて1枚の絵に仕上がっています。傘の中の顔をご想像下さい。(T)

特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ 一心

茅ヶ崎市十間坂1-5-49

TEL: 0467-58-7086

(ケアマネジャー連絡先) 84-0651

E-Mail: chigasaki@wco-issin.jp

URL: <http://www.wco-issin.jp>

- ★一心独自事業
- ★介護保険訪問介護事業
- ★介護予防訪問介護事業
- ★障がい福祉サービス事業
- ★介護保険居宅介護支援事業
- ★茅ヶ崎市育児支援家庭訪問事業

<発行責任者> 寺井 玲子

<発行日> 2016年7月2日

2016 年度新体制スタートしました！！

今年度、一心は3名の理事とコーディネーター1名が新たに誕生しました。これからのそれぞれの抱負を特集し皆様にお届けいたします。



<経絡マッサージ研修>



<新コーディネーター> 北原美香子
6月より、コーディネーターとして活動することになりました。まだまだ分からないことばかりですが、頼もしい先輩たちにいろいろと教えていただき、研修などにも参加して様々なケアに対応できるようになりたいと考えております。宜しくお願いいたします。

新理事長 挨拶 <寺井玲子>

通りから見える庭に、紫陽花が色とりどりの表情を見せています。2016年もう半年が過ぎてしまいました。一心は5月14日に無事に総会を終え、6月からは新任理事を3名と外部から新監事と内部の監査担当者を迎え新体制（11名）でスタートしています。

1996年5月に誕生した一心は、20年という歳月の中で、多くのご利用者の方や関係者各位の方と出会いがありました。現在の一心があるのはそんな皆様と、何より心温かいメンバーがあってこそ、と感じています。

ところで、今後の事業の方向性はこれから抱える大きな課題となってきます。3年毎の介護保険制度の改正のたびに、あれやこれやと定例会でお知らせし討議してきました。そして、2017年度から茅ヶ崎市で開始となる日常生活支援総合事業については、まだ詳細が示されていない中、組織としての検討を必要としています。みんなでアンテナを張って情報を集め、話し合いながら乗り越えて行きましょう。

褒めていただければ頑張れる理事長です。前向きな話し合いの場となりますように。



20周年に寄せて（メンバーからのひとこと）



<さびしとき>（童謡集「空のかあさんより」）
私がさびしいときに、よその人は知らないの。
私がさびしいときに、お友だちは笑うの。
私がさびしいときに、お母さんはやさしいの。
私がさびしいときに、佛さまはさびしいの。

<解説>
その人も友だちも、お母さんでさえも {わたし} のさびしさを心底わかってはくれない～わかってくれるのは {ほとけさま} だけ。{この世の人} には決してわってもらえぬさびしさを、人は心の中に秘している。金子みすずはこんなにもやさし言葉で、心の奥深に語りかけてくる。コーラスを続けて30年。今私が練習している曲です～

この詩は私の今の心境に重なる部分があります。何かあると一心の仲間と歌に支えられています。

<香川邦子>

<青柳京子>

こんなに長～くお仕事出来るとは、思っても見なかったです！！でも、振り返ってみますと「あっ！！」と言う間で、この様に自分らしく過ごせたのは、一心に在籍出来ましたから・・・！！良い仲間は“私の宝”です。長女の出産の時、助けがなく泣き泣き動き、辛かった事をよく思い出します。家政婦さんをお願いをしました。その事が入会のきっかけになりました。お仕事は、いまだに失敗も多く、お伺いする前夜には夢を見る事もあります。この年齢になりましても社会に関われるのは素晴らしい事です。



<新理事> 梅澤恭子

一心に入会した時に小学1年だった次女が、今年高校に入学しました。子供の成長に、一心で過ごした月日の大きさを実感します。この数年、介護の仕事を取り巻く環境も大きく様変わりしました。悩ましい問題には事欠きませんが、前向きに解決し、明るく風通し良く気持ちのいい職場であり続けられるよう、日々に忙殺されず丁寧に対応していけたらと思います。そして、利用者の皆様にも笑顔をお届け出来るよう、いつも元気に過ごしていきたいです。

総会風景



よろしく お願い致します！



<新理事> 木内由美子

この度、理事として運営を担って欲しいと声をかけていただきました。積極的に発言・行動が出来る訳でもないので、若い方には是非お願いして下さいとお断りしましたが、一心が益々活気づくよう協力して下さいと促され、不安は尽きませんが引き受けました。在籍年数ではそろそろ幕引きの時期ですが、皆さまにご指導頂き微力ながらお手伝いして行きたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

<新理事> ロカひとみ

介護の「介」とは、「物の間にはさまる。取り持つ。そばに付き添って助ける。固く身を守る。」という意味を持ち、「護」もまた「まもる」という意味を含んでいます。一心を立ち上げた先達がひとりひとり考えたであろう、私たちの役割は何か？これからの社会にどうかかわっていくのか？…時代やステージが変わっても志は変わらずに、こう問い続けていくことの大切さを感じています。柔軟な発想と日々の研鑽を両輪に、活力ある理事を目指してまいります。よろしくお願い致します。

一心に入って10年以上になりました。その間、人生の先輩である利用者の方々から、若かった頃の話をお聞きしたり、生活の知恵を教えていただく時に、穏やかな笑顔に接するとホッとした気持ちになりました。また、救急車に乗った事もありました。この仕事のおかげで、外に出て体を動かす事も多かったので、健康に注意する生活ができたと感じています。

<亀田要子>

